

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

作成日：2025 年 7 月 16 日

授業科目名	如水会寄附講義「如水ゼミ」			
ゼミ名	陸上運輸（鉄道） ～これまでの「当たり前」を超えていきます～			
講師幹事名	野村 祐介 （東日本旅客鉄道株） マーケティング本部 戦略・プラットフォーム部門 企画・総務ユニット マネージャー 平16商）	大学教員	全学共通教育センター長 南 裕子	
学 期	2025 年春夏（秋冬）	開講時間	水曜 4～5時限	
【授業の目的・到達目標】 JR 東日本グループは、「安全」を経営のトッププライオリティとして堅持しつつ、鉄道をはじめとした「モビリティ」と、流通・サービス事業、不動産・ホテル事業といった「生活ソリューション」の2軸によって支えられる強靱な経営を推進すると同時に、「Suica Renaissance 構想」のもと、Suica をあらゆるビジネスの基盤として進化させ、「Suica 生活圏」を構築することを目指しています。 それぞれの事業の「融合と連携」の深化を進めることで新たなマーケットを創造し、お客さまや地域の皆さまに「安心」と「感動」をお届けすることですべての人の心豊かな生活を実現し、そしてこれまでの「当たり前」を超えていくために、JR 東日本グループが掲げる経営方針や各種戦略について知見を広げ、議論を重ねることで、さらに理解を深めることを目的とします。				
【上記目的・目標達成方法】 JR 東日本グループに入社し、急速に変化する社会環境やお客さまニーズ、SDGs など社会からの様々な要請に対して、「ヒト起点のマーケットイン」の発想でチャレンジしている講師陣が、各自が経験したさまざまな課題をケーススタディとして紹介しながら、グループ戦略の方向性を示していきます。 講師陣からの講義や問題提起に対し、JR 東日本グループの大きな変化点におけるダイナミズムを感じてもらうとともに、経営の視点から日本の将来像を創造する機会となるよう、一利用者としての視点、経営サイドとしての視点の両方をもって、これらの難題への解決策と一緒に考え、議論します。				
【授業の内容と計画】				
月日	講師名	卒年 学部	社名・役職 （※役職は作成日現在）	講義内容
10/22 （水） @一橋	葛谷 憲一郎	平16 経	東日本旅客鉄道株） グループ経営戦略本部 経営企画部門 経営統括ユニットマネージャー	当社の経営全般・人財育成について
	二宮 翼	平23 院	同 人財戦略部 人財育成ユニット副長	
	田島 綾乃	平23 経	同 人財戦略部 人財育成ユニット副長	
10/29 （水） @一橋	柴田 信幸	平20 商	東日本旅客鉄道株） マーケティング本部 戦略・プラットフォーム部門 戦略・CXユニット副長	モビリティサービス事業、 観光・地域活性化事業について
	加藤 翔太	平30 商	同 鉄道事業本部 モビリティ・サービス部門 輸送戦略ユニット	
	小野 眞琴	令2 社	マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 観光・地域活性化ユニット	
11/5 （水） @一橋	阿部 健司	平11 法	東日本旅客鉄道株） マーケティング本部 戦略・プラットフォーム部門 デジタルビジネスユニットリーダー	Suica 事業、JRE POINT 事業について
	小塚 沙織	平25 商	同 Suica・システム決済部門 Suica Renaissance ユニット	
	劉 媛	令1 院	同 戦略・プラットフォーム部門 データマーケティングユニット	

個別ゼミ概要(WEB掲示用)

11/12 (水) @一橋	藤井 崇史	平 12 経	東日本旅客鉄道株) マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 新規事業ユニット マネージャー	生活ソリューションサービス事業について
	浦野 亮一	平 13 商	同 戦略・プラットフォーム部門 戦略・CXユニット マネージャー	
11/19 (水) @一橋	高橋 佑介	平 21 経	東日本旅客鉄道株) マーケティング本部 まちづくり部門 不動産戦略ユニット チーフ	開発・不動産事業について
	中島 悠輝	平 22 社	同 まちづくり部門 品川ユニット チーフ	
11/26 (水) @一橋	白石 啓明	平 7 社	東日本旅客鉄道株) 国際事業本部 インド高速鉄道部門 人財育成・O&Mユニットリーダー	国際事業、海外事業展開について
	大井 一輝	平 28 商	同 マーケティング本部 くらしづくり・地方創生部門 グローバルビジネスユニット	

【テキスト・参考文献】

特段ありません。基本的に講師陣が用意します。

【受講生に対するメッセージ、希望】

「JR 東日本＝日本の鉄道だけの会社」というイメージを変える機会にしていきたいと考えます。各回とも講師陣からの講義のみならず、各テーマにあわせて受講生間でのディスカッション、受講生と講師間でのディスカッションの時間を設けますので、今後、どのようにすればさらに企業価値を最大化していけるか、積極的な姿勢で自らの考え、意見を発出することを望みます。

【過去の受講者の感想】

- JR 東日本がどのような企業なのかを知ることができた。鉄道事業だけでなく幅広い分野に携わっていることを知った。その他にも、企業の財務情報と非財務情報が記載された統合報告書という文書の存在を知れた。将来就職活動をする際に、企業がどのようなことに注力しているのかを知りたいときに役立つだろう。(法 2)
- 私は社会学部であり本格的な企業のバランスシートやキャッシュフローの意味を理解できていませんでした。しかし、本日の講義を受けて、それぞれの数字がどんな意味を持つのかを実感を持って理解することができたため、大変勉強になりました。企業を分析する際に大きな一助になると感じました。(社会 4)
- まず、葛谷さんのお話は、JR 東日本、ひいては鉄道業界が抱える課題を理解するのにとても役に立った。特に、コロナを経た経営トレンドの変化への理解が深まった。
次に、内藤さんのお話は、「ESG 経営」という、近年一般化しつつある経営方針や、投資環境・経営環境・社会環境について理解を深めるきっかけとなった。
最後に、二宮さんのお話は、人事の中でも人材育成に関する考え方を知る機会となったとともに、改めて、JR 東日本のような、ジョブローテーションが存在する会社での働き方を理解する、貴重な機会となった。(社会 3)
- 鉄道のモビリティとは別に、Suica や駅ビルなどの生活サービスについての講義をしていただいた。鉄道を点と点を単に結ぶものではなく、町という面と面を結ぶという役割として認識し、広大なネットワークのもとでそれが行われていることに JR 東日本のアセットの規模感を実感した。(経済 2)

個別ゼミ概要 (WEB掲示用)

- 今回の講義を受けて、JR 東日本さんの観光事業について深く見識を深めることが出来ました。鉄道は自動車やバスと異なり観光地に必ずしも直接アクセスできないというハンデがありながらも、地域に根差した地盤を生かした取り組みが各地で行われていることが勉強になりました。
また先週に続いて今週もグループワークにおいて闊達な議論を行えたので、非常に充実した時間を過ごすことが出来ました。(法 2)
- JR 東日本の不動産事業は、デベロッパーや私鉄と異なり、広い鉄道エリアを活かして、地元の人々と協力しながら地方の地域活性化ができる点にあるというお話が印象に残りました。私は地方創生に関心があるので、横浜の駅ビルの開発も大変興味深かったですが、地方の開発のお話をまた別の機会に伺いたいと感じました。(社会 2)
- なかなか聞くことの出来ない、海外事業に関して話を聞くことができ、勉強になった。特に、成功している事業の紹介のみならず、撤退した事業の紹介や、グループワークの中での 3C 分析や、4P など、事業創造の中で必要な考え方を知ることでもできたのも、ためになったと感じている。(社会 3)

以上